

Sustainable  
Innovation Lab

100年後も地球と生きる

Sustainable Innovation Labは、  
私たちが地球で生き残る道を見出すための  
イノベーション・プラットフォームです。

企業、スタートアップ、自治体、研究者、アーティストなど、  
多様な主体者が交わり、未来をともに構想し、  
まだ見ぬ世界をかたちにしていきます。

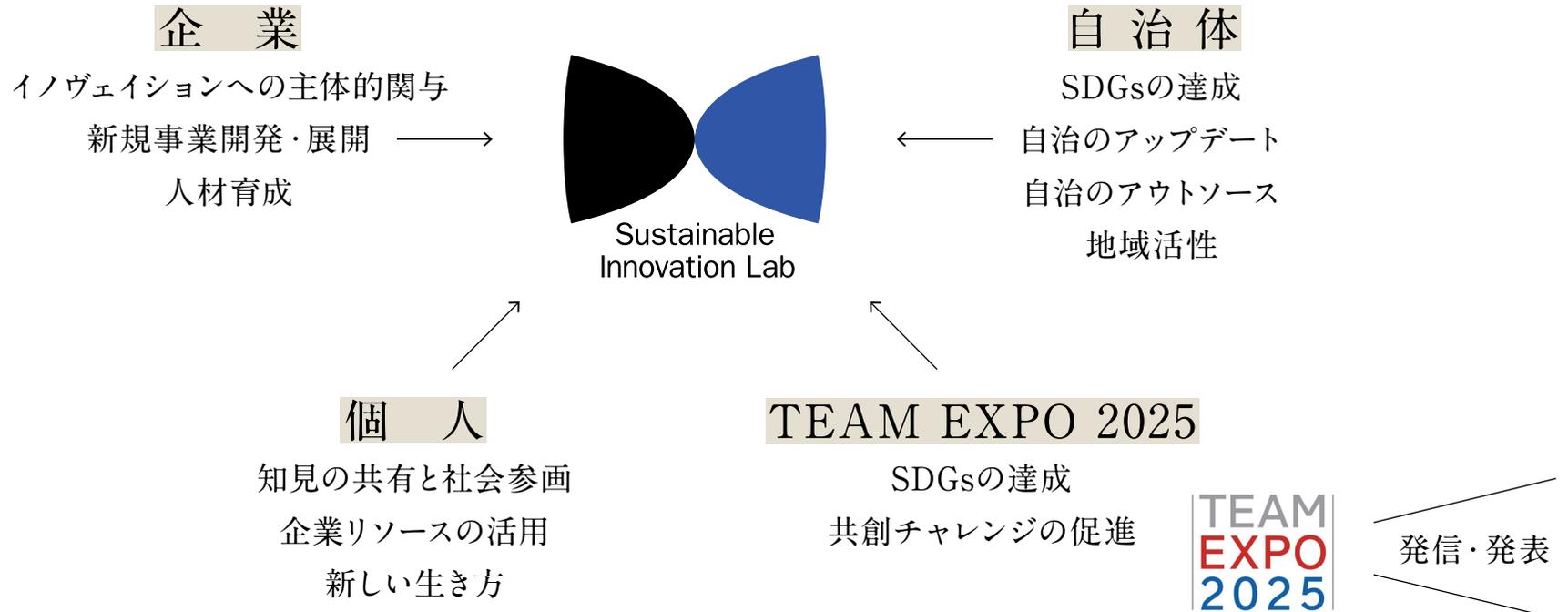
Sustainable Innovation (サステナブル・イノベーション) は、無目的な利便性の向上や経済合理性の追求ではなく、100年後も私たちが地球と生きていくための手段であり共創するための取り組みです。身の回りのことから地球規模のことまで、すべてを関連づけ、何かを達成するために何かを犠牲にするのではなく、連鎖的に課題を解決していこうとする態度でもあります。

# About



## Sustainable Innovation Labとは

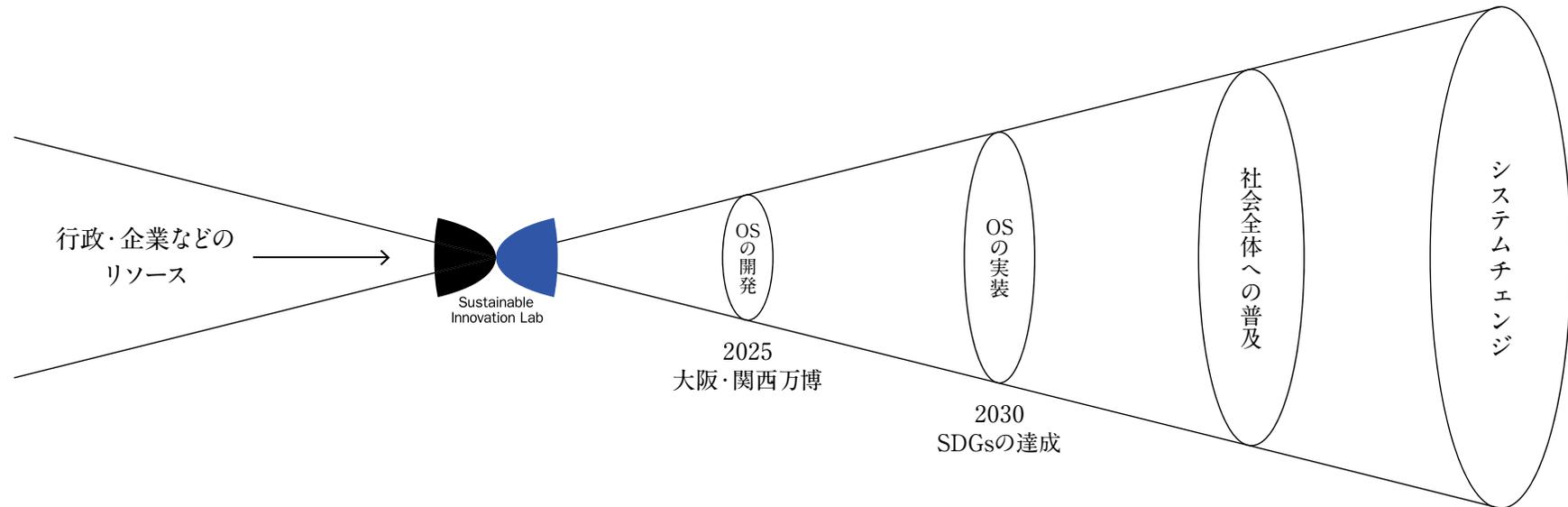
Sustainable Innovation Lab (SIL) は、サステナブル・イノベーションへの取り組みを、社会に実装し変革（システムチェンジ）へとつなげていくためのプラットフォームです。SILは、多様なセクターが主体者として参画し、それぞれのリソース（知見、経験、人材、技術、成果など）を共有することで、共創や協働を促すための仕組みをつくり、実践を継続的に支援しアップデートするための文化を育んでいきたいと考えています。100年後の地球とその世界を生きるものたちの健全な姿をどのように描き、いま何を創っていくべきなのか。研究と実践を繰り返しながら進んでいきます。



100年後、私たちが地球で生き残るために。  
地球上に生きる人間を含む多様な生き物たちがつながり、  
その生命を謳歌できる世界を保つこと。  
地球資本を再生可能な状態に導き、  
未来を生きる子や孫たちの制約条件を減らし、  
地球に暮らすことができる時間を  
できるだけ多く確保することが私たちの目的です。

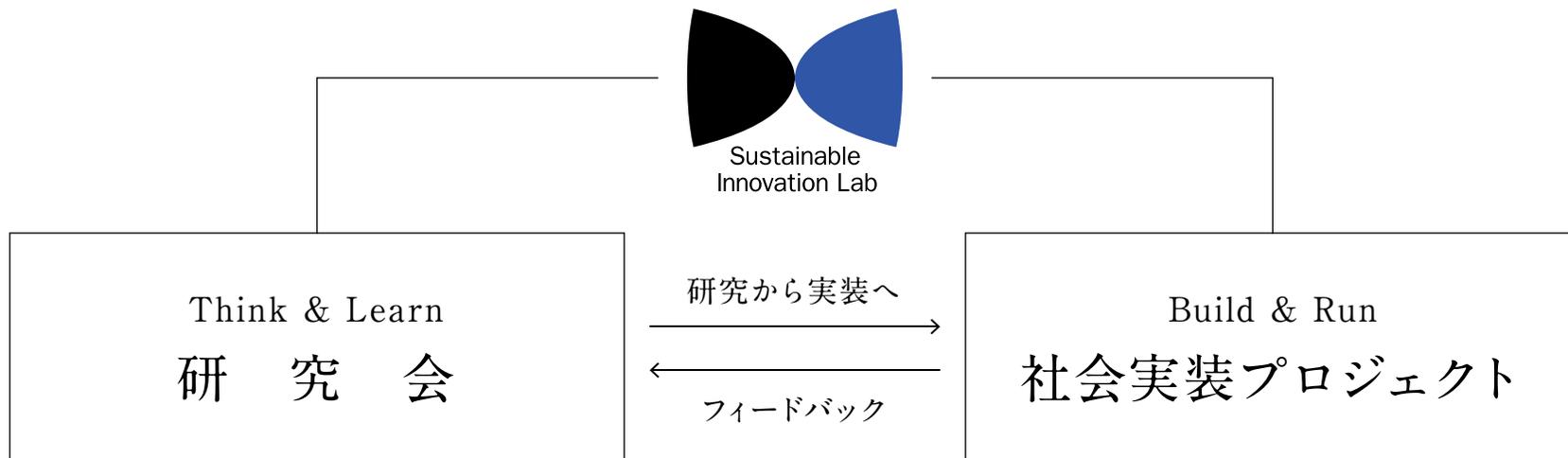
## SILのミッション

現状の社会の改善だけでは、私たちの目的を果たすことは難しいと考えます。根本から新しく、社会のOS（オペレーティング・システム）をつくる必要があります。私たちの人間性を取り戻すためのテクノロジーの活用、カーボンニュートラルの実現、サーキュラーエコノミーの実装、コモンズの再構築、オルタナティブな教育の確立など、重要な基本機能を組み込んだOSの構築が急務です。SILの参画メンバーおよびフェローと協議しながら、新たな社会OSのデザインと実装に取り掛かります。



## SILの機能

SILには、学びと共創を促すための『研究会』と、現場を持って新規事業の立ち上げなどを行う実践のための『社会実装プロジェクト』という大きくふたつの活動領域があります。企業や自治体など主体者それぞれの課題とその認識、立ち位置や課題解決のフェーズによって、適切な関わり方ができるプラットフォームです。研究会→社会実装プロジェクトという流れを想定し、また社会実装プロジェクト→研究会のフィードバックによって新たなチャレンジを誘発します。



## 研究会について

SILでは、サステナブル・イノベーションに関する学びと共有のために、研究会（コンソーシアム）を立ち上げました。課題に対する理解を深め、次のアクションへと繋げることを目指しています。またセクター横断的なネットワークを構築し、課題に対するより効果的で実践的な取り組みを生むための、プラットフォームとなります。

### ① 学び

有識者を招いたトークイベントや、ディスカッションを通じて、目指すべき未来像を描く

### ② ネットワーク

あらゆるセクターがそれぞれの知見やリソースを共有するネットワークを提供する

### ③ マッチング

様々なリソース（知見、技術、課題、人材etc.）を組み合わせ、新たな価値を生むための協働を促す

### ④ プロジェクト組成

課題を見極め、企画を立案。  
アイデアを実践に移すためのプロジェクトを準備する

## 研究会の主な活動

### ①共創と学びの場（Xゼミ）とコミュニケーショングループ

サステナブル・イノベーションに関する学びとディスカッションの場（Xゼミ=トランスフォーミングゼミ）を毎月開催。オンラインコミュニケーションツールを使ったグループでも情報を共有します。

### ②リサーチャー制度

学びを深めたいメンバー向けにリサーチャーを公募。メンバー自ら、先進事例やプロジェクトの現場をレポートしデータベース化することで、メンバー全員がアクセスできる共有知財となります。

### ③全体会議（年一回開催）の開催

メンバーが一堂に会し、各地域・領域での実証実験を報告しながら、地域連携や課題解決をめざします。

### ④イベントを通じたビジネスマッチングと交流

学びを深め、メンバー外にも広く発信するために、不定期でイベントを開催します。SILの枠組みを超えたネットワーキングやマッチングを行います。

### ⑤Sustainable Innovationに関する個別相談会

具体的な実践フェーズ（社会実装プロジェクト）に移るための個別相談会を行います。マッチングとプロジェクト組成を行い、サステナブル・イノベーションに向けた最初の一步を支援します。

## SILの共同代表



林篤志 (はやし あつし)

Next Commons Lab ファウンダー

ポスト資本主義社会を具現化するための社会OS「Next Commons Lab」をつくる。2016年、一般社団法人Next Commons Labを設立。自治体・企業・起業家など多様なセクターと協業しながら、新たな社会システムの構築を目指す。日本財団特別ソーシャルイノベーターに選出(2016)。Forbes Japan ローカル・イノベーター・アワード地方を変えるキーマン55人に選出(2017)



白井智子 (しらい ともこ)

新公益連盟 代表理事

4～8歳をオーストラリア・シドニーで過ごす。東京大学法学部卒業後、松下政経塾に入塾。1999年沖縄のフリースクール設立に参加、校長をつとめる。2003年大阪府池田市教育委員会から委託を受け、全国初の公設民営のフリースクール「スマイルファクトリー」を設立。東日本大震災後には福島県南相馬市に「みなみそうまラーニングセンター」「原町にこここ保育園」等を立ち上げ、運営。新公益連盟代表、公益社団法人ハタチ基金代表理事、文部科学省フリースクール等検討会議委員、内閣府休眠預金等活用会議専門委員等をつとめる。

## SILのフェローについて

専門的な知見や技術をもってSILの活動を強化し、サステナブル・イノベーションの実践をより深く遠くへと導いてくれる存在です。毎月の勉強会での講演や、社会実装プロジェクトへの参画、その専門性を活かして様々な関わり方を想定しています。

秋吉 浩気 / VUILD株式会社 代表取締役

上田 祐司 / 株式会社ガイアックス 代表執行役社長

大室 悦賀 / 長野県立大学 グローバルマネジメント学部教授、ソーシャル・イノベーション創出センター長、  
京都市ソーシャルイノベーション研究所所長

小川 さやか / 文化人類学者、立命館大学大学院先端総合学術研究科教授

高橋 大就 / 一般社団法人「NoMAラボ」代表理事、一般社団法人東の食の会 事務局代表、オイシックス・ラ・大地株式会社  
グローバル担当専門役員

宮城 治男 / NPO法人ETIC. 代表理事

柳沢 正和 / 国際NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ国際理事、外資系金融機関勤務

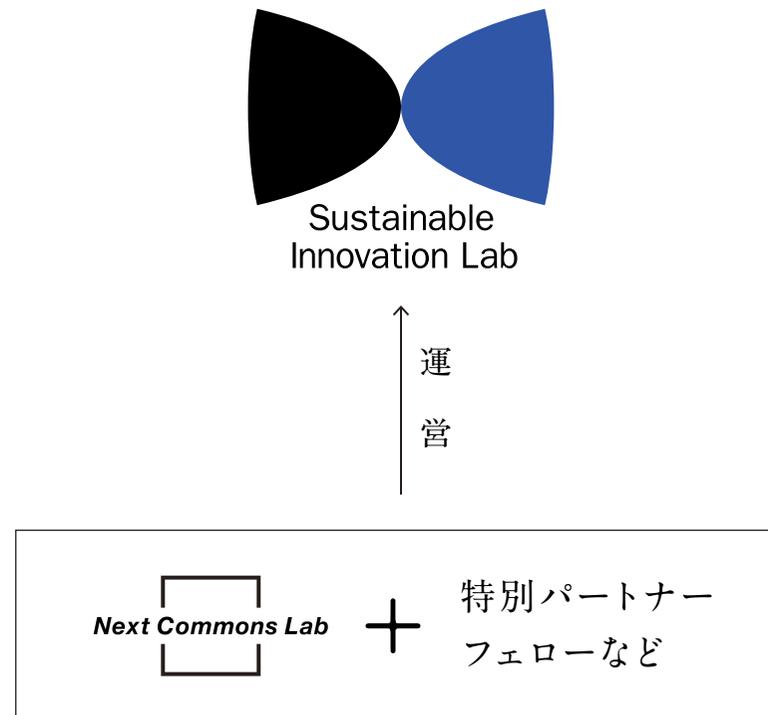


フェローの詳細はこちらの  
ニュースをご覧ください。

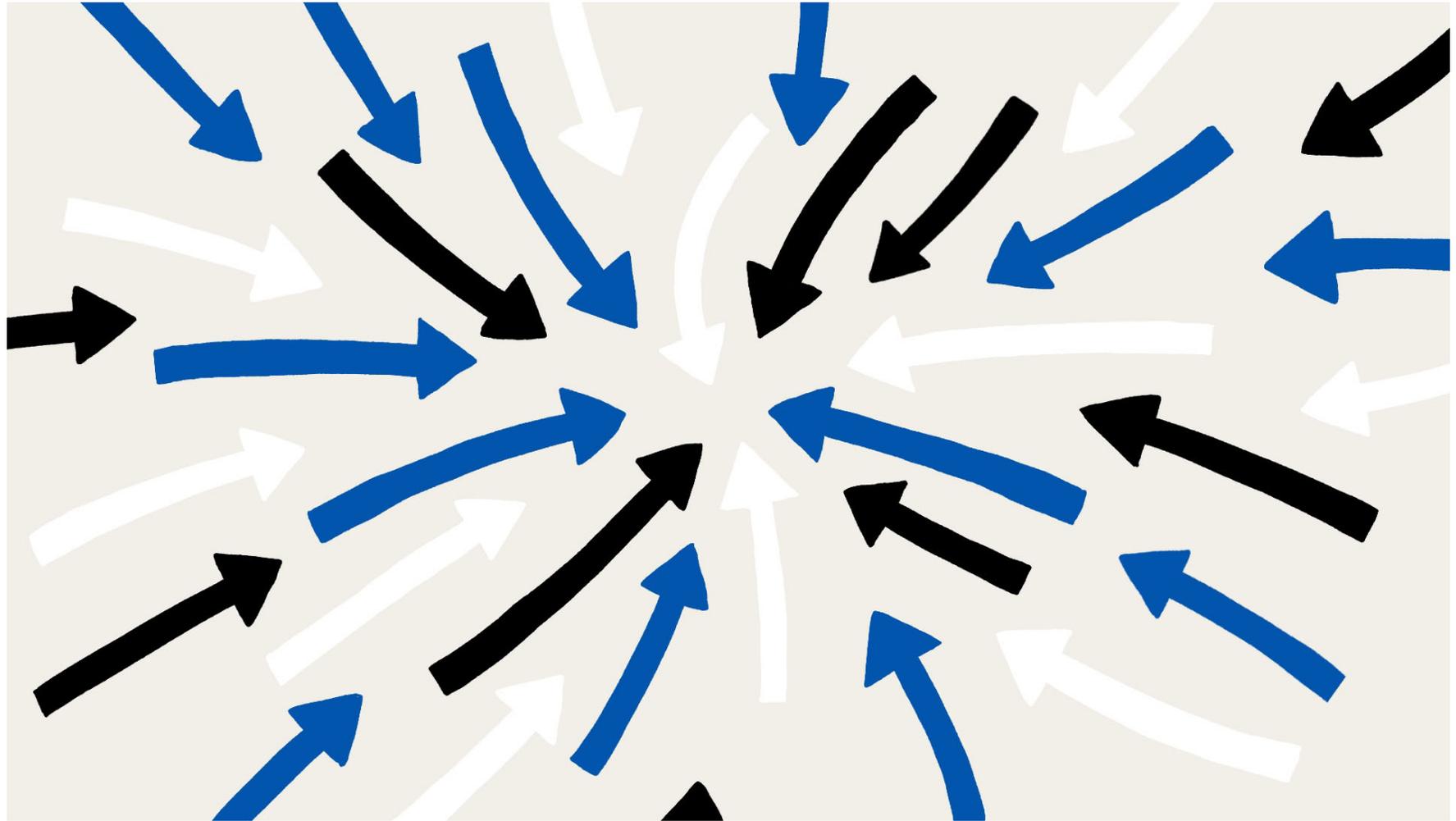


## SILの運営

専門的な知見や技術をもってSILの活動を強化し、サステナブル・イノベーションの実践をより深く遠くへと導いてくれる存在です。毎月の勉強会での講演や、社会実装プロジェクトへの参画、その専門性を活かして様々な関わり方を想定しています。



Join



## SILへの参画

SILの研究会に参画するにはメンバーシップ登録が必要です。メンバーシップは対象や内容によって種別があります。また、具体的な案件として社会実装プロジェクトをともに立ち上げることに  
よって、社会実装パートナーとして参画いただけます。

---

## SILの社会実装パートナー

SILの取り組みに賛同し、Next Commons Labとともにプロジェクトを実践している企業や自治体  
が、社会実装パートナーとして参画しています。研究会へプロジェクトの進捗や成果などを共有  
し、またSILネットワークを通じた新たな協働や多地域展開なども行っています。

## SILのメンバーシップ

### — パブリック —

SILに参画し、企業とのコラボレーションを積極的に行い、SDGsや地域課題への取り組みにおいて、実証実験や実装フィールドとしての可能性をもっている自治体

### — アソシエイト —

SILに参画し、その知見や技術、ネットワーク、専門性、先進事例などを提供し、プラットフォーム全体のリソースを多様で豊かなものにする企業や個人 ※アソシエイトメンバーは招待制になります

### — ベーシック —

SILに参画し、学びとネットワークを得ることで、サステナブル・イノベーションを志向する新規事業開発や社会課題可決など、実践的なプロジェクトの立ち上げを目指す企業や個人

### — パートナー —

SILに参画し、より明確な課題や目的を持って、他のメンバーとの共創によるプロジェクト組成を志向する企業。研究会において、企画提案や、自らの課題・成果などを発信する機会がある

### — 特別パートナー —

SILに参画し、人材の派遣や出向を通じてサステナブル・イノベーションの創出・共創を促すプラットフォームそのものの運営やコーディネートを主体的に仕掛ける企業。NCLとともに運営チームとして様々なプロジェクトに関与する機会がある

メンバーシップ種別	パブリック	アソシエイト	ベーシック	パートナー	特別パートナー
対 象	自治体	企業・非営利団体 研究機関・個人・その他	企業・個人	企 業	企 業
参 画 費	無 料		66万円/年	264万円/年	660万円/年

— 全メンバーシップ共通 —

- ①毎月一回開催する勉強会への参加
- ②学びのためのオンラインシェアグループへの参加
- ③イベントへの優待参加
- ④イベントを通じたビジネスマッチングと交流
- ⑤全メンバーが集う全体会議（年一回開催）への参加
- ⑥国内外の研究活動への参加
- ⑦Sustainable Innovationに関する個別相談会

— パートナーおよび特別パートナー —

- ⑧ロゴ掲載などの情報発信
- ⑨イベントでの登壇の機会
- ⑩SILの運営に関する共同企画と情報発信

— 特別パートナー —

- ⑪SILへの人材派遣や出向などを通じた運営への参画

1.導入説明会に参加する



2.登録フォームを提出する



3.事務局による承認



4.参加申込書/承諾書を提出する



5.参加金のお支払い



メンバー登録完了



SIL 参画に関する  
お問合せリンク

# Members



## SILのメンバー

SILは、以下の企業・団体・自治体と共に共創をスタートさせます。  
(2021年5月現在)

### 〈 特別パートナー 〉

三ッ輪ホールディングス株式会社

### 〈 社会実装パートナー 〉

アマタホールディングス株式会社

and Beyond カンパニー

特定非営利法人ETIC.

### 〈 パートナー 〉

学校法人柿沼学園

### 〈 ベーシック 〉

株式会社ecommit

株式会社ストライダーズ

東邦レオ株式会社

パナソニック株式会社アプライアンス社

有限会社藤川工務店

丸紅エネルギー株式会社

### 〈 パブリック 〉

福島県南相馬市

長野県小布施町

静岡県浜松市

三重県尾鷲市

大阪府池田市

兵庫県豊岡市

広島県福山市

奈良県奈良市

### 〈 アソシエイト 〉

エクスポリス合同会社

株式会社小高ワークズベース

郡上エネルギー株式会社

Sanagy株式会社

スーパーゴリラパワー合同会社

ZENTECH

株式会社TART

合同会社TENG

不動産テック協会

株式会社eumo

合同会社ユブネ

株式会社Riparia

村上一馬

矢部佳宏

山口有里